

「地域がささえる食と農 神戸大会」  
~ 4<sup>th</sup> URGENCI International Symposium ~

大会趣意書

2010年2月18日（木）～21日（日）

神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス  
（兵庫県神戸市）



「地域がささえる食と農 神戸大会」実行委員会

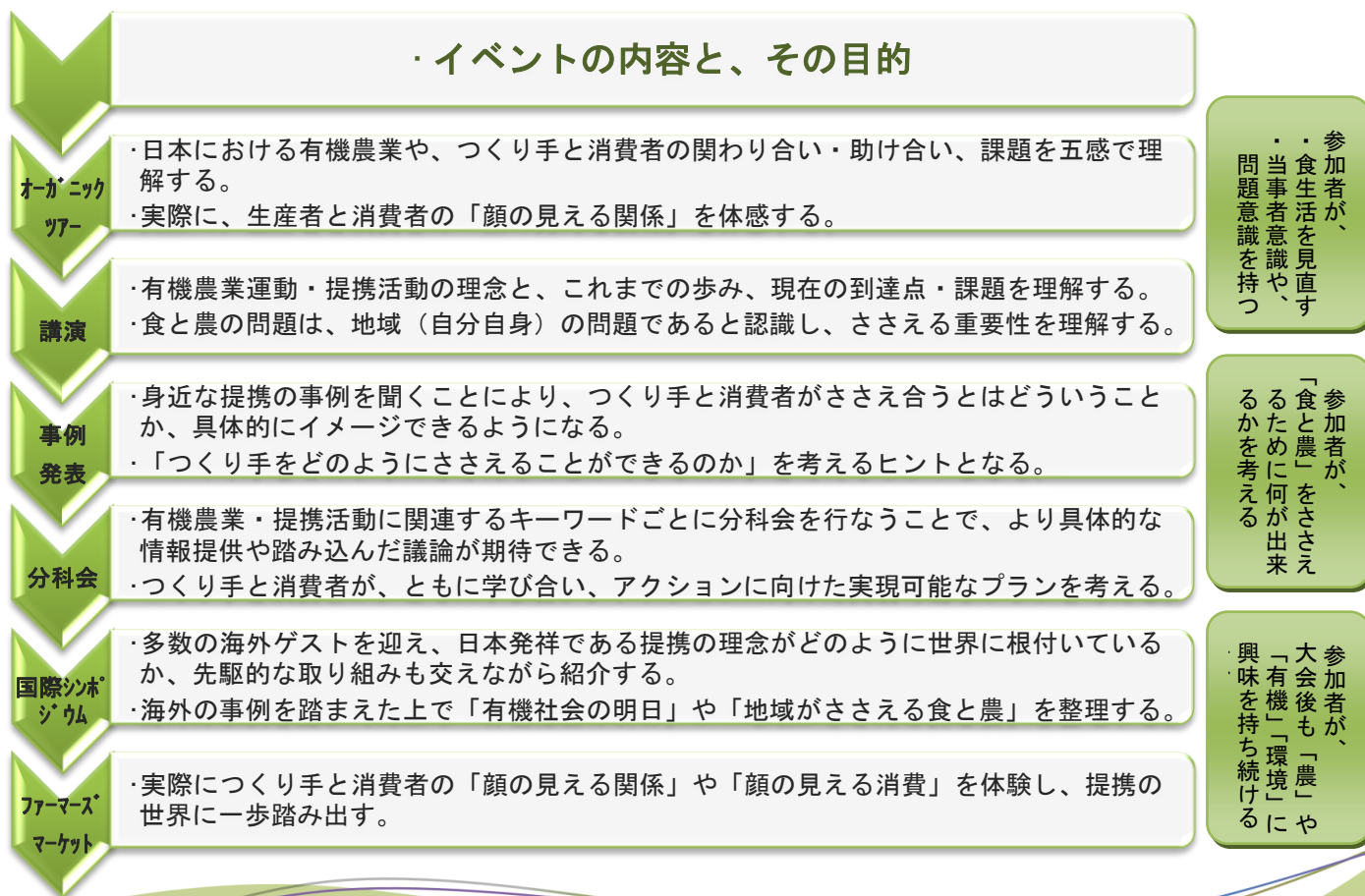
## ◆大会開催の背景と目的

1970年代、消費者と生産者の「顔の見える関係」を基軸とする「提携運動」が日本で生まれ、今、その提携の理念は世界でも広がりを見せています。私たちは「つくり手と消費者が互いにその役割を理解しあい、リスクを共有し、相互の連携を図ろう」という提携の理念に基づき、多様性に富み持続可能で健康な社会をめざして、有機農業・提携運動を進めてきました。

ところが今、コスト削減が重要視されることで、化学肥料・農薬・食品添加物の使用が慣行化し、またつくり手である農産地と消費地の距離が大きくなることで、消費者の食べものとその背後に存在する自然環境や生物多様性などに対する興味や理解・参加意識が急速に失われつつあります。こういった流れのなかで、農業・農村も様変わりし、中小規模の家族経営農家の衰退が始まっています。

すべての人にとって食べものはいのちの源です。安全で安心かつ持続可能な農業には、消費者の理解と支援が必要不可欠です。今こそ、自分自身や大切な人の口に入る食べものをもう一度見直し、「なぜ地域（＝自分自身）が食と農とをささえなければならないのか」「自分は、どのように食と農をささえていくことができるのか」を考え直す時であると考え、本大会を開催することにいたしました。

## ◆大会概要図



## ◆大会概要

1. **大会名称**：地域がささえる食と農 神戸大会 ～4<sup>th</sup> URGENCI<sup>(\*)</sup> International Symposium～
2. **日 程**：2010年2月18日（木）～2月21日（日）（メインイベントは土・日に開催）
3. **実施場所**：神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス（兵庫県神戸市）
4. **主催者**：「地域がささえる食と農 神戸大会」実行委員会  
【実行委員長】橋本 慎司（URGENCI）  
【事務局長】赤城 節子（(特活)兵庫県有機農業研究会）  
【構成団体】URGENCI、(特活)兵庫県有機農業研究会、(特活)アイフォーム・ジャパン、(特活)全国有機農業推進協議会、(特活)日本有機農業研究会、港区立エコプラザ、(特活)秀明自然農法ネットワーク、(特活)秀明インターナショナル、大地を守る会、(株)アフアス認証センター、(特活)生物多様性農業支援センター、ソイルジャパン(株)、らでいっしゅぼーや(株)、(株)シー・ディー・シー・インターナショナル、(株)ビオ・マーケット、(財)自然農法国際研究開発センター
5. **参加対象者**：
  - ①健康な食べもののニーズが高い、子育て世代、高齢者を抱える熟年世代、スロースライフやロハスに関心を持つあらゆる年代の都市生活者
  - ②地域生協グループ、消費者団体、環境保護団体、学校、行政、JA、慣行農業農家
  - ③提携 CSA（Community Supported Agriculture）実践者、新規就農（希望）者
  - ④一般紙・専門雑誌の記者、およびテレビ・ラジオ・ネット系取材者
6. **共催、後援機関・団体（予定）**：神戸市、兵庫県、農林水産省、環境省、神戸学院大学、IFOAM
7. **協 力**：賛同団体・個人、協賛企業、他
8. **特別協力（予定）**：中内財団、Meet in Kobe 21（神戸市）、有機農業普及啓発事業（農林水産省）
9. **公式ホームページ**：告知ホームページは、今後立ち上げ予定

### (\*) URGENCI（ウージャンシー）とは：

2004年に結成された、地域連帯を基盤にした生産者と消費者のパートナーシップのグローバルネットワーク。

「家族単位の農業を維持・発展させる」「世界中の地域およびコミュニティの食料主権を確保する」「適切な食を通じ、飢餓や栄養失調との戦い、人々の健康を促進する」「生産者と消費者、農村と都会の市民の社会的連帯ネットワークを発展させる」「環境および市民責任に関する教育を行う」「農村住民と都市住民の連帯を通じ、疎外された社会的弱者や貧困を解消する」ことを目的に掲げ、国際レベルでの情報交換や研修・定植、生物多様性や責任ある消費活動への取り組みなどを実践している。

【参考】公式ホームページ：<http://www.urgenci.net/>

## ◆大会スケジュール（予定）

### 1) 2009年2月18日（木）から1泊2日／オーガニックツアー：

海外ゲストや国内の希望者が、兵庫県内の有機農業実践地域（丹波市島町、豊岡市、神戸西のモデルタウン）を視察する旅。「日本における有機農業」「提携地域との関わりや相互の影響」「消費者と生産者との助け合い」「今までとこれからの課題」を五感で理解し、「顔の見える関係」を体感してもらうツアーです。その体験を踏まえた、現場により近いアイデア・意見が会期中に議論されることを目指します。

### 2) 2009年2月20日（土）／関西地域交流集会と国際シンポジウム：

09:45 - 09:55	<b>オープニング</b> （本野 一郎氏／農を変えたい！全国運動関西地域ネットワーク）	
09:55 - 10:10	<b>来賓挨拶</b>	
10:10 - 10:50	<b>全体講演①「有機農業の歩みと到達点」</b> （保田 茂氏／神戸大学名誉教授）	
10:50 - 11:30	<b>全体講演②「世界各地の提携事例」</b> （海外ゲスト）	
11:30 - 12:10	<b>関西地域交流集会プログラム①「数値で有機農業が見える化！」</b>	
12:10 - 13:15	<b>昼食</b>	
13:15 - 14:15	<b>関西地域交流集会プログラム②「シンボリック事例発表」</b> （金子 美登氏／(特活)全国有機農業推進協議会、梶淵 俊子氏／淑徳大学大学院総合福祉研究科 教授）	
14:15 - 14:45	<b>ポスターセッション、分科会説明</b>	
15:00 - 17:00	<b>【分科会(関西地域交流集会 担当)】</b> トピック 1 「地域自給圏 Local Food Systems」 トピック 2 「オープン&クローズドマーケット」 トピック 3 「次世代ミーティング」	<b>【分科会(国際シンポジウム 担当)】</b> トピック 4 「環境とエネルギーと農」 トピック 5 「食農教育」 トピック 6 「生産者自立」 トピック 7 「パートナーシップ」
17:15 - 17:45	<b>全体会</b>	
18:00 -	<b>ウェルカムパーティ(希望者のみ)</b>	

### 3) 2009年2月21日（日）／国際シンポジウム：

10:00 - 10:10	<b>オープニング</b> （村山 勝茂氏／URGENCI）
10:10 - 10:20	<b>挨拶</b> （佐藤 喜作氏／(特活)日本有機農業研究会）
10:20 - 12:00	<b>国際シンポジウム講演①「Community Supported Agriculture」</b> （海外ゲスト）
12:00 - 13:15	<b>昼食</b>
13:15 - 14:30	<b>国際シンポジウム講演②「これからの有機社会」</b> （海外ゲスト）
14:30 - 15:45	<b>総覧「Local Foods Systems」</b>
16:00 - 17:30	<b>分科会からの提言、まとめ</b>
17:30 - 17:45	<b>大会宣言</b>
17:45 - 18:00	<b>閉会挨拶</b> （橋本 慎司氏／「地域がささえる食と農 神戸大会」実行委員長）
18:00 -	<b>フェアウェルパーティ(希望者のみ)</b>